

令和7年度 小・中学校における環境教育の取組み

総合的な学習の時間（第1学年）

テーマ【 大阪狭山市をより良い街にするために 】

大阪狭山市立狭山中学校

《学習のねらい》

- ・地域や社会の課題を自分と関連づけて考え、その解決に向けて他者と協働しながら学習に取り組む。
- ・持続可能な社会の創り手として、主体的に社会に参画していく力を育成する。

《学習の流れ》

実施時期 7月 ～ 11月

	学習活動の主な内容	指導のポイント
1 総合	株式会社ケシオンの方に来ていただき、SDGs ラジオを活用し、大阪狭山市のことについて考える。	SDGs が「世界の課題」ではなく「自分ごと」であることに気づき、日常でできる行動を考える力を育成する。
2 総合	実際に「大阪狭山市について」ホームページを閲覧してどのような取組みを行っているのか知る。	大阪狭山市のゴミ分別方法や排出量の実態を調べることで、地域で起きている課題を理解する力を育てる。
3 総合	「生活環境グループ」「株式会社ごみの学校」の方に講話していただき、地域のゴミ問題について深く学ぶ。	市職員や専門機関の話を聞くことで、地域のゴミ問題の現状や課題をより具体的に理解し、自分たちの生活との結びつきを考えさせる。
4 総合	班で「大阪狭山市のごみ問題」について取り組んでいる内容・課題・提案・自分たちができることなどをまとめる。	構成を「現状→課題→原因→解決策→自分たちにできること」といった流れで整理させ、論理的にまとめる力を育てる。
5 総合	クラスで発表し、クラスで選んだ代表班は全体の場で発表する。	各クラスが調べてきた「市のごみ問題」や提案内容を、聴き手に分かりやすく伝えることを目的として発表に臨むよう指導した。

《活用したプログラムや教材、ゲストティーチャー 等》

大阪狭山市 市民生活部 生活環境グループ・株式会社ごみの学校・株式会社ケシオン（SDGs ラジオ）

《成果》

- ・地域の課題を自分の生活と結びつけて考える力が育成された。
- ・専門家の知識をもとに、班ごとに独自の課題設定ができ、探究的に調べる姿勢が顕著にみられた。
- ・自分たちの生活に直結する課題であることを意識し、「どうすればいいのか」を前向きに考える姿が見られた。

